

令和3年度（第3回）認定 教員免許状更新講習一覧

(必修領域) 「全ての受講者が受講する領域」

(選択必修領域) 「受講者が所有する免許状の種類、勤務する学校の種類又は教育職員としての経験に応じ、選択して受講する領域」

(選択領域) 「受講者が任意に選択して受講する領域」

講習の名称	講習の概要	担当講師	時間数	講習の期間	受講対象者	受講料	受講人数
<b>「必修」①</b> これから有用に働く最新の教育事情と教育方法	「国の教育政策や世界の教育の動向」「教員としての子ども観、教育観についての省察」、「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見」「子どもの生活の変化を踏まえた課題」について、教員に求められる知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。	三羽 光彦 (芦屋大学 大学院教授) 三浦 正樹 (芦屋大学 大学院教授) 林 知代 (芦屋大学 大学院教授) 藤本 光司 (芦屋大学 大学院教授)	6時間	令和3年8月2日(月)	幼稚園教諭 小学校教諭 中学校教諭 高等学校教諭 特別支援学校教諭	6,000円	80人
<b>「選択必修」②</b> これからの学校教育の具体的方策とその対応	これからの学校教育に期待される課題を明確にして、適切に対処できることを目指した解説を行います。その中で、教育改革と学校教育の在り方、特別支援教育の現状と課題、問題解決的な学習と教材、情報社会と情報モラル等を取り上げ、学校の対応についての指針を考察します。	笠原 清次 (芦屋大学 特任教授) 河南 勝 (芦屋大学 特任准教授) 安東 茂樹 (芦屋大学 特任教授) 林 泰子 (芦屋大学 講師)	6時間	令和3年8月3日(火)	幼稚園教諭 小学校教諭 中学校教諭 高等学校教諭 特別支援学校教諭	6,000円	80人
<b>「選択」③</b> これからの子ども理解と援助	乳幼児期の育ちを保障する保育の質と保育者の専門性について考え合う。参加者とディスカッションも交えて進行する。乳幼児期の発達の中でも心の育ちに焦点をあて、育ちあう子ども集団をつくる保育者の役割について考えたい。また保育の中で子どもたちの学びを捉える視点と学びを深める援助について討議を深める。乳幼児期の発達を踏まえた保育環境構成を考える。 幼小連携の観点から小学校教諭も対象とする。	大谷 彰子 (芦屋大学 准教授) 安藝 雅美 (芦屋大学 講師)	6時間	令和3年8月4日(水)	幼稚園教諭 小学校教諭 幼保連携型認定こども園 保育教諭	6,000円	30人
<b>「選択」④</b> これからの初等 教育段階で求める基礎・基本の教育	「早寝早起き朝ごはん」を文部科学省が推進している。子どもの生活習慣の乱れが学習意欲、体力、気力の低下の要因の一つとして指摘されている。「早寝早起き朝ごはん」の重要性を睡眠と睡眠をコントロールする体内時計の観点から考察する。 TPR や CLIL などの英語教育の基礎知識にも触れながら、小学校英語活動や英語科の授業で使う教室英語の基本フレーズや身近な単語を演習を通じて学習する。 「主体的・対話的で深い学び」を算数科の授業で実現させていくための要素や方策について、プログラミング学習等の実体験を通して理解を深める。 文部科学省の子どもの学びの連続性を確保が重要という観点から幼稚園教諭も受講対象とする	渡 康彦 (芦屋大学 教授) 笠原 清次 (芦屋大学 特任教授) 丹下 秀夫 (芦屋大学 准教授) 中村 整七 (芦屋大学 准教授)	6時間	令和3年8月5日(木)	幼稚園教諭 小学校教諭 特別支援学校教諭	6,000円	30人

<p>「選択」⑤ これから必須な情報技術と持続可能社会の重要性</p>	<p>対人コミュニケーションの演習を通して良好な人間関係づくりを体験的に理解する。教師としての SNS 利用について、zoom や Google ミートを利用した授業についての基礎知識や問題点、授業のネット配信について、著作権や肖像権についても本講義では解説、討議型の講義をします。</p> <p>SDGs と自然環境の関連性を中心に環境教育の視点から持続可能な社会について考える。また、CSR や CSV といった企業の社会的責任について普段生活する中で意識する事が少ない取組について今後の発展性や継続性について考察する。スマート化社会の基礎知識・動向（デジタルネイティブ世代のスマート社会観）などを分かりやすく講義します。</p>	<p>森下 博行（芦屋大学 教授） 中村 宏敏（芦屋大学 教授） 池田 聡（芦屋大学 准教授） 井上 徹（芦屋大学 准教授）</p>	<p>6 時間</p>	<p>令和 3 年 8 月 6 日（金）</p>	<p>小学校教諭 中学校教諭 高等学校教諭 特別支援学校教諭</p>	<p>6,000 円</p>	<p>40 人</p>
<p>「選択」⑥ これからの教員として生徒を育む体育・スポーツ指導</p>	<p>本講義では「球技（ゴール型とネット型）、武道（剣道）」を取り上げ、授業づくりのヒントや部活動の指導に役立つ効果的な指導方法について演習形式で解説をするとともに、最新のトレーニング科学の知見と実践的なトレーニング方法について解説を行う。基本的に中学生や高校生への運動指導を対象とするが、小学校教諭も受講は可能。</p> <p><b>【※参加者は運動の出来る服装で、室内用シューズをご持参下さい】</b></p>	<p>青木 敦英（芦屋大学 教授） 石川 峻（芦屋大学 講師） 伊藤 武徳（芦屋大学 特任准教授）</p>	<p>6 時間</p>	<p>令和 3 年 8 月 7 日（土）</p>	<p>小学校教諭 中学校教諭 高等学校教諭 特別支援学校教諭</p>	<p>6,000 円</p>	<p>40 人</p>